



神を仰ぎ 人に仕う

Chapel News

2023年6月2日(金)

No.3

万事が益となる

これは、パウロという人が新約聖書のローマの信徒への手紙の中で書いている言葉です(8章 28 節、新共同訳聖書 285 頁)。人生における全てのことが、自分自身にとって利益になるという意味です。

ここで想像するのは、こう言い得るパウロの人生は幸運の連続であったのではないかということです。パウロはイエス・キリストを宣べ伝える大伝道者であり、また、新約聖書に収められている文書の約半分を書いたと考えられています。

しかし、彼は口下手であり、何かしらの病気を抱えていたようです。また、時に迫害で鞭打たれ、飢えに苦しみ、最終的には殉教したのです。普通に考えてみれば、それらは彼の人生にとって不利益であったはずですが。

それでは、パウロは超楽観主義者であり、困難に次ぐ困難に直面したけれども、物事を否定的には捉えずに、終始プラス思考に徹し、ポジティブな生き方をしたのでしょうか。つまり、彼自身の努力によって、全てが利益となると言えるようになったのでしょうか。

聖書が伝えるのは、そのようなこととは異なります。パウロは万事を益とする方がいると信じたのです。実際この言葉は、「神は、…万事を益となるようにして下さる」という意味です。主語はパウロ自身ではなく神です。

わたしたちは様々な困難に直面するとき、自らが培ってきた経験や価値観で、言い換えれば、自らの力でそれらを乗り越えようとしています。また、家族、友人、そして先生という他者からの助言に耳を傾けてみるのです。それらは全て尊いものと言えるでしょう。

にもかかわらず、もう一つのことがあるのです。それは、わたしたちの人生一コマ一コマの全てを益となるように取り計らってくださる絶対的他者、つまり神がおられ、その方を信じる道があるということです。礼拝は、そのような道が誰にでも広く開かれていることに気づかされていく時であるのです。

心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン 木村 太郎

2023 年度 年間聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。
(ローマの信徒への手紙 第5章 3~4 節)

2023 年度春学期全学礼拝 4月11日(火)~7月28日(金)

全学礼拝は火曜日~金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分~15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでの文書礼拝配信となります。

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分~19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

主の祈り

天にましますわれらの父よ
ねがわくはみ名をあげさせたまえ
み国をきたらせたまえ
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を今日も与えたまえ
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン



★ チャペルでの全学礼拝時には以下について
ご協力をお願いいたします ★

- * マスクの着用
- * 席は詰めすぎずに着席
- * 起立での讃美歌の歌唱、主の祈りの唱和



120th Anniversary of the Bible's Mission to Japan

6月6日(火)

奨励者 赤田 直樹
 (聖学院みどり幼稚園園長・チャプレン、
 聖学院教会牧師)
 司会者 山口 博
 奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 79 番 1 節
 聖 書 エフェソの信徒への手紙
 2 章 10 節(新約 P.353)
 祈 禱
 奨 励 「私たちは神の作品」
 祈 禱
 讃美歌 79 番 3 節
 主の祈り
 後 奏

6月7日(水)

奨励者 山口 博
 (聖学院院長・キリスト教センター所長)
 司会者 木村 太郎
 奏楽者 村上 野花

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 309 番 1 節
 聖 書 詩編
 73 編 21~28 節(旧約 P.908)
 祈 禱
 ハンドベルによる賛美奉鐘
 「What a Friend We Have in Jesus」
 奨 励 「闇夜の旅路
 ーあなたがわたしの右の手を
 取ってくださいー」
 祈 禱
 讃美歌 309 番 2 節
 主の祈り
 後 奏

6月8日(木)

奨励者 柳田 洋夫
 (人文学部チャプレン)
 司会者 洛雲海
 奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 391 番 1 節
 聖 書 ペトロの手紙一
 4 章 10~11 節(新約 P.433)
 祈 禱
 奨 励 「持っているけど、持っていない」
 祈 禱
 讃美歌 391 番 4 節
 主の祈り
 後 奏

6月9日(金)

奨励者 木村 太郎
 (心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 山田 志帆

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 267 番 1 節
 聖 書 ヨハネによる福音書
 16 章 33 節(新約 P.201)
 祈 禱
 聖歌隊による賛美奉献
 讃美歌 21 346 番「来たれ聖霊よ」
 奨 励 「しかし、勇気を出しなさい」
 祈 禱
 讃美歌 267 番 2 節
 主の祈り
 後 奏

今後の全学礼拝(文書)奨励者のご案内

文書礼拝配信は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



- 6月13日(火) 勇 文人先生 (日本キリスト教団富山二番町教会牧師)
- 6月14日(水) 中本 純先生 (日本キリスト教団仙台東六番丁教会牧師)
- 6月15日(木) 木村 太郎先生 (心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
- 6月16日(金) 帆苅 基生先生 (弘前大学教員、本学講師)
- 6月20日(火) 篠田真紀子先生 (日本キリスト教団浅草教会牧師)
- 6月21日(水) 嶋田 恵悟先生 (日本キリスト教団土浦教会牧師)
- 6月22日(木) 小林 信人先生 (日本キリスト教団高輪教会牧師)
- 6月23日(金) 中村 謙一先生 (聖学院幼稚園・小学校チャプレン)
- 6月27日(火) 村上 純子先生 (心理福祉学科教授)
- 6月28日(水) 野村 春文先生 (子ども教育学科特任講師)
- 6月29日(木) 清藤 淳先生 (日本キリスト教団和歌山教会牧師)
- 6月30日(金) 橋本いずみ先生 (日本キリスト教団西宮一麦教会牧師)

7月の全学礼拝(チャペルでの対面)奨励者のご案内

- 7月4日(火) 菊地 順先生
(政治経済学科特任教授)
- 7月5日(水) 山口 博先生
(聖学院院長・キリスト教センター所長)
- 7月6日(木) 柳田 洋夫先生
(人文学部チャプレン)
- 7月7日(金) 木村 太郎先生
(心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)



次回のChapel News発行日は、6月30日(金)です。